

IR整備法による規制に加え、大阪独自の対策を講じ、懸念事項の最小化を図ります

ギャンブル等依存症対策

大阪IRの実現に向けて、既存のギャンブル等に起因するものも含めて、ギャンブル等依存症問題に正面から取り組み、ギャンブル等依存症対策のトプランナーをめざし、発症・進行・再発の各段階に応じた、防止・回復のための対策について、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的な取組みを構築していきます。



TOPIC ギャンブル等依存症対策の大阪府・市の取組み状況

令和4年度には、ギャンブル等依存症対策を総合的かつ計画的に推進するため、「大阪府ギャンブル等依存症対策基本条例」を制定するとともに、「第2期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定し、着実に取組みを実施しています。

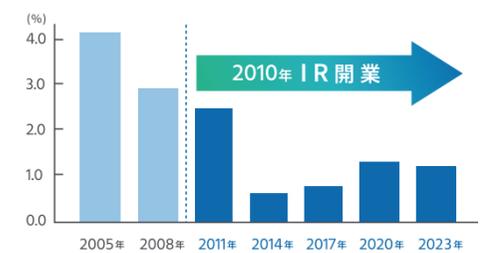
<主な取組み>

- ・依存症ポータルサイトの運営
- ・「(仮称)大阪依存症センター」の機能の検討
- ・「大阪依存症ほっとライン」の実施
- ・高校生向け依存症予防啓発ツールの活用 など

TOPIC シンガポールにおけるギャンブル等依存症対策

2010年に2つのIR施設が設置されたIRの先進事例であるシンガポールでは、国家依存症管理機構(NAMS)を設立し、ギャンブルに関する相談業務を24時間対応で実施するなど、IRのオープン前から国をあげて依存症対策に取り組むことで、オープン後の方が、「ギャンブル等依存が疑われる者等」の割合が減少したという実績があります。大阪においても、IRを契機として既存のギャンブル等を含めた依存症問題に正面から取り組み、「ギャンブル等依存が疑われる者等」の割合の低減をめざしていきます。

シンガポールにおける「ギャンブル等依存が疑われる者等」の割合の推移



※問題ギャンブル国家評議会(NCPG)の調査結果をもとに作成

治安・地域風俗環境対策

夢洲における警察署等の設置や、大阪府警察の警察職員の増員など、警察力の強化を図った上で、IR事業者との適切な役割分担のもと、治安・地域風俗環境対策に取り組めます。



大阪IRの開業に向けて

大阪・夢洲での世界最高水準の成長型IRの実現をめざし、2030年秋頃のIR開業に向けて、公民連携して取組みを進めていきます。



これまでの経過とIR事業の工程(想定)

時期	工程
2023年	4月 区域整備計画の認定
	9月 実施協定等の締結
	12月 液状化対策工事の着手
2024年	10月 IR準備工事の着手
時期	工程(想定)※
2025年 春頃～2030年 夏頃	IR建設工事
2030年 秋頃	IR施設の開業

※工程が最も早く進捗した場合の想定